



SEGAWASHO

瀬川翔

portfolio ~10/29/2026

2022 《ミライノボクヨリ》

第 43 回東京都中学校放送コンテスト優秀賞

第 39 回 NHK 杯全国中学校放送コンテスト東京都大会優勝

2023 《畜群》

2023 八王子 shortfilm festival 学生部門 観客賞 / 準優勝

2023 高校生のための eiga worldcup(映画甲子園) 最優秀音楽賞 / 地域産業おこしの会賞

2024 《紅の空》

2024 高校生のための eiga worldcup(映画甲子園) 最優秀男優賞

2025 第 47 回ぴあフィルムフェスティバル 審査員特別賞受賞

UNEXT・JAL 機内線にて配信

2007 年 8 月 8 日生まれ

せがわしょう

映画美学校フィクションコース初等科

慶應義塾大学総合政策学部 1 年

幼少期から映像に関心を持ち

中学から高校にかけて 3 本のショートフィルムを撮りました。

卒業後、映画美学校にて作劇の方法を学び

慶應 SFC にて、私の持つ発想と、他分野との実践的接地を考えています。



《 ミライノボクヨリ /16 分 /2022 》

14 歳。

被写体も製作者も 14 歳のまま
意味と無意味の狭間で物語は繰り返す

特別支援学級にいる少年と
彼に恋する少女の物語。
彼女はなぜ彼を諦めなくては
ならなかったのか

大人になるということと
未来の自分が何を伝えに来ているか
ということ

企画 / 脚本 / 監督 / 撮影 / 編集



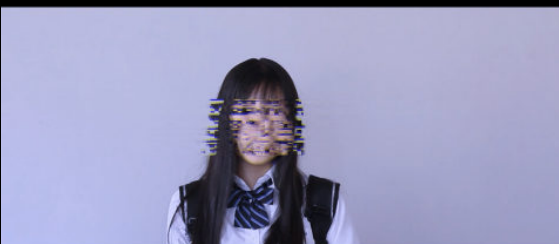


《 畜群 /13 分 /2023 》



食用人類” 畜人” の弟と、彼と二人で暮らす姉の逃避行
ニーチェの「畜群本能」になぞらえて
多様性の尊重というテーマが
日常的な欲求や自文化性の上でいかに脆く曖昧に
是認されてきたかを問う映像作品。

企画 / 脚本 / 監督 / 撮影 / 編集





《 紅の空 /39 分 /2025》



g 激動の一九三八年

日本では、偶然にも《人造石油》の製造法が確立した。

エネルギーの革命が、

新たな富と競走をもたらす最中

青空が忘れられ、豊穡の赤空を

皆が慈しむようになったとき

列島の海と大気は

気化したコバルト溶媒と、人々の瘴気に

満ちてしまった。



環境汚染によって、空が真っ赤に染まった現代日本。
 札幌県から東京のエリート高校に進学した柏木糸は、
 息の詰まるような社会の中で友人と出会い
 初めての恋を経験する。
 彼を取り巻く世界の情勢が変化するにつれ
 彼の周囲に潜んでいた秘密が
 高校生の三角関係を通して明かされていく。
 自分では何も選べない世界で
 それでも何かをつかもうともがく青年の姿を
 独特の色彩で鮮烈に描いた作品。

企画 / 脚本 / 監督 / 撮影 / 編集

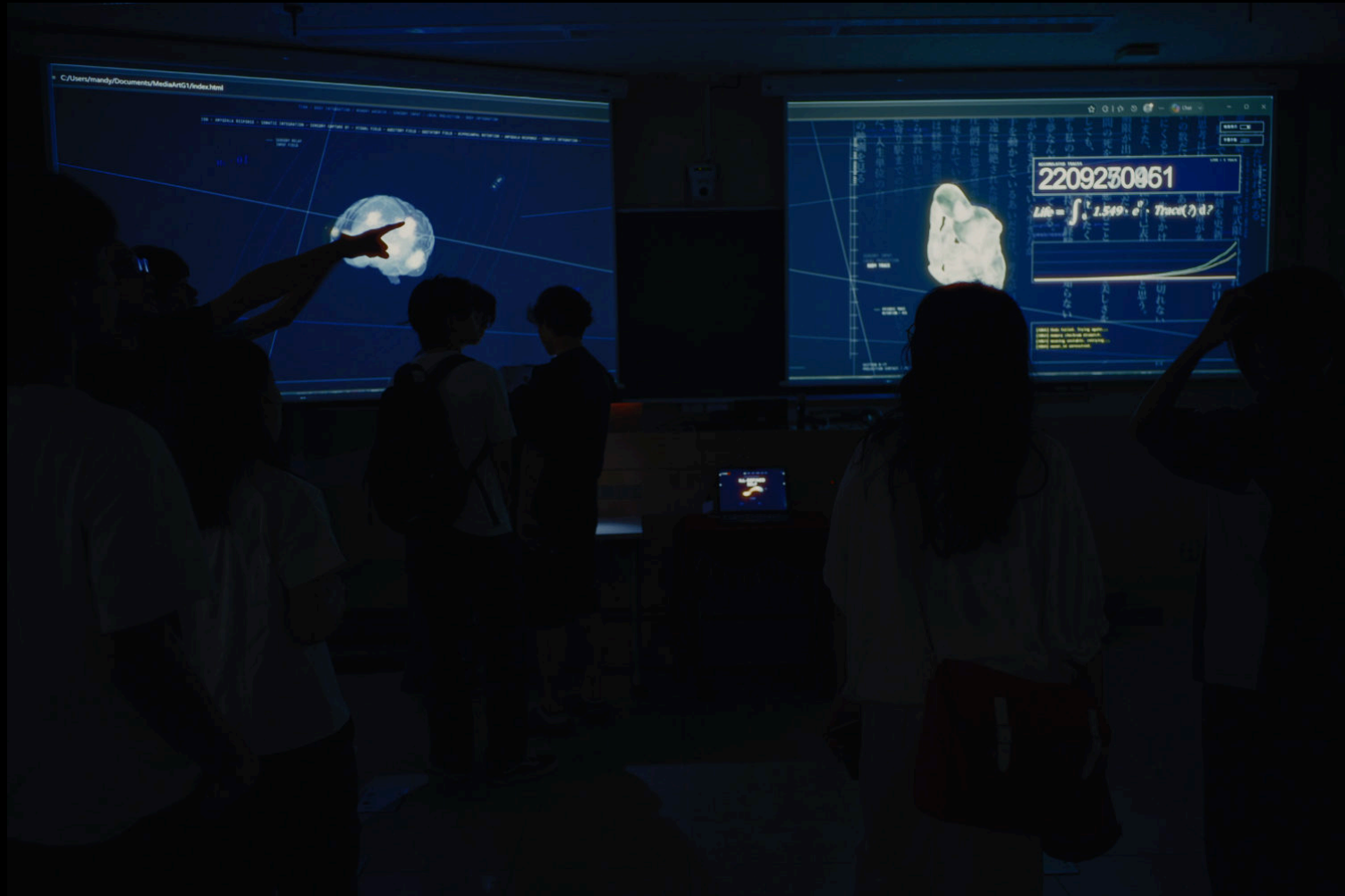


原作 《 紅の空の下で /9 分 /2022》

企画 / 脚本 / 監督 / 撮影 / 編集

《 ill-defined-self 》 /SFC 2026 春学期

視覚表現インスタレーション グループ制作



担当：コンセプト原案 / プロトタイピング

《痕跡 02》 /SFC 2026 春学期 ファウンドオブジェクトアート



SSFC 構内で回収した廃棄物を展示し
それぞれに絶対者《Fable5》が生成した鑑定文を添えた。
鑑定文は、物の傷や汚れから、持ち主の氏名や出身、そして
それを構内で捨てた理由までを断定口調で、全て事実として示している。
読み進めるうちに、鑑賞者は見知らぬ誰かの私生活を
暴いてしまったような感覚に巻き込まれる。
AI の出力の神性と、他人の痕跡を覗き見る加害性を問う作品。

る

担当：コンセプト / ゴミ漁り / キュレーション

